

日立キャピタル

HITACHI
Inspire the Next

「2016～2018年度 中期経営計画」の進捗

2017年10月31日

 日立キャピタル株式会社

Contents

1. 2018中計のハイライト
2. 2018中計の進捗
3. 今後の成長に向けて
4. まとめ

Contents

- 1. 2018中計のハイライト**
2. 2018中計の進捗
3. 今後の成長への取組み
4. まとめ

1. 2018中計のハイライト

**グローバル事業
:2桁成長を持続**

「規律ある高い成長性を維持」

- 地域特性に応じたリスクコントロール
- ポートフォリオ分散による外部環境に左右されない体制構築
- 2018年度海外比率:6割(税引前当期利益)

**日本事業
:ROA2%チャレンジ**

「事業構造改革継続による成長ステージへの移行」

- 注力分野の再設定による資産効率の向上
- 競争力強化に資するバックヤードの強化

**積極的な投資
:高度人財・攻めのIT・
パートナー連携**

- 事業成長を支える戦略的投資を実行
(事業パートナー、M&A、IT投資等)
- ⇒ M & A : 資産規模 3,000億円
I T 投資 : 200億円
人 財 投資 : 高度人財 200名増

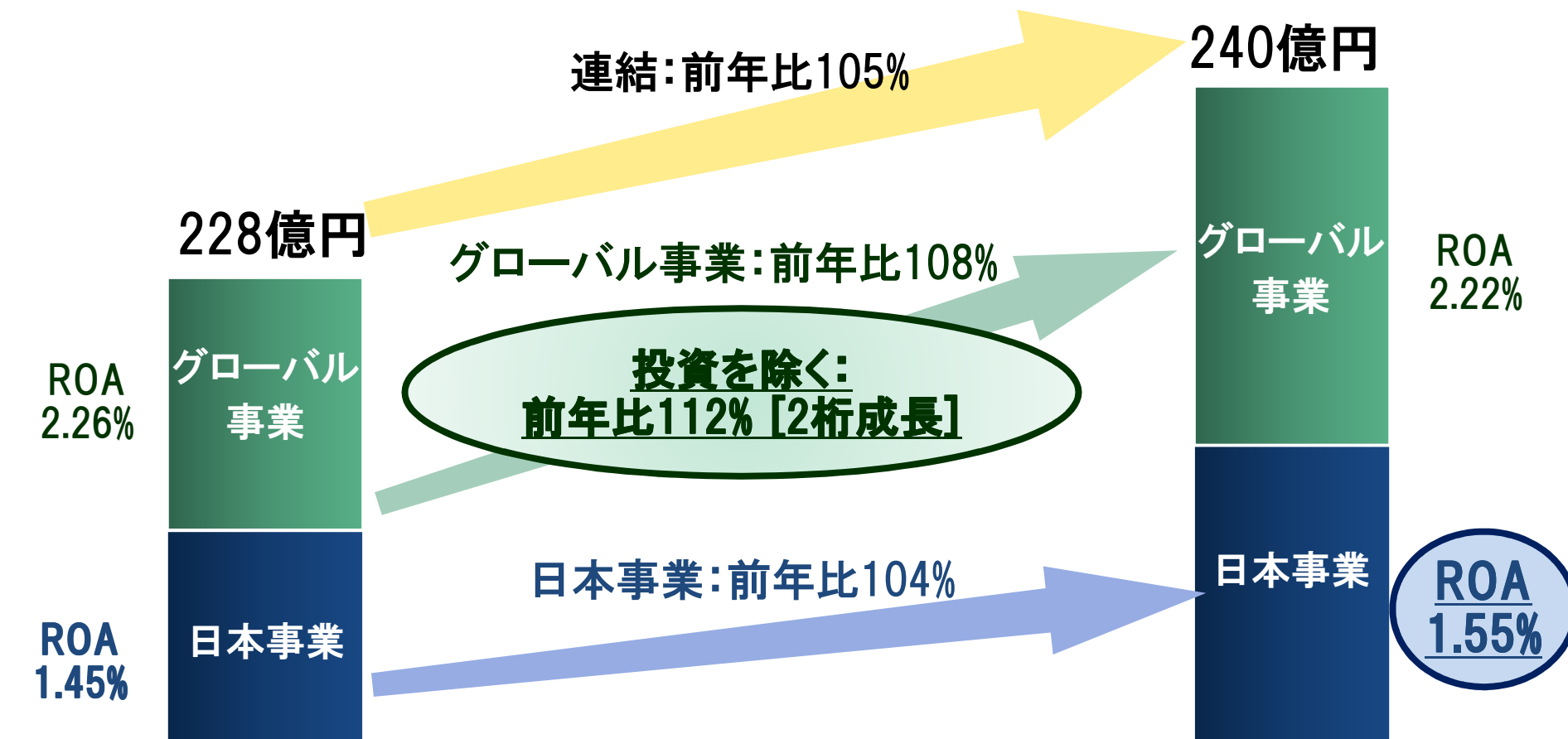
Contents

1. 2018中計のハイライト
- 2. 2018中計の進捗**
3. 今後の成長に向けて
4. まとめ

2-1. 業績概要

グローバル事業は成長持続。日本事業は収益性改善

税引前当期利益の推移



16年度上期

*グローバル事業：前年比は為替影響除く
ROAは投資除く

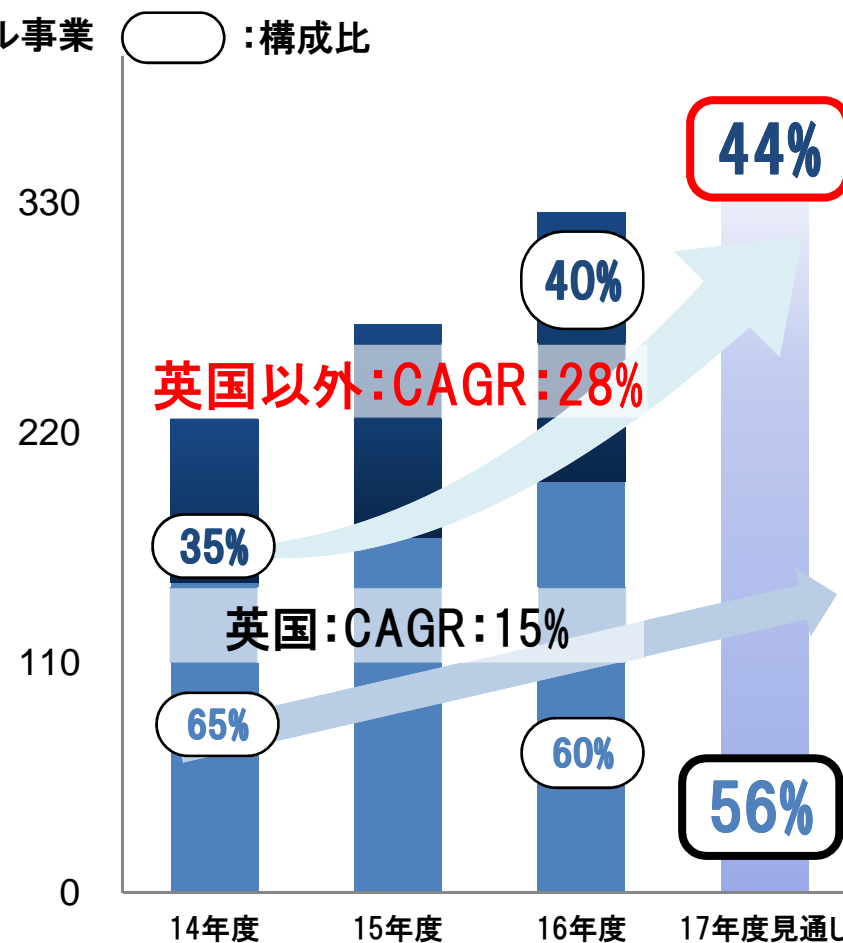
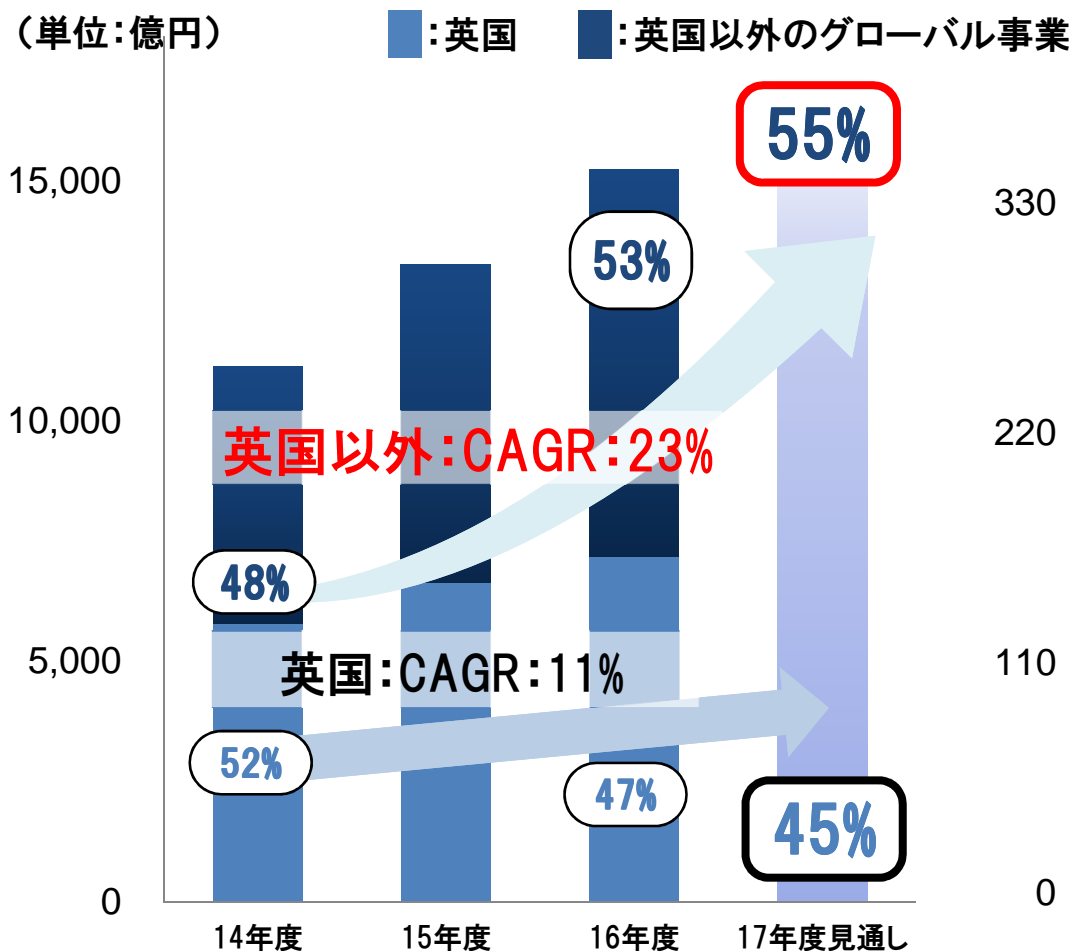
17年度上期

2-2. グローバル事業の展開

「英国の成長持続」と「他地域の成長拡大」による安定成長

グローバル事業の営業資産残高*

グローバル事業の税引前当期利益*



欧州大陸展開を加速。英国事業は順調に推移

トピックス

【欧州大陸】欧州事業の安定成長をめざし大陸展開を加速

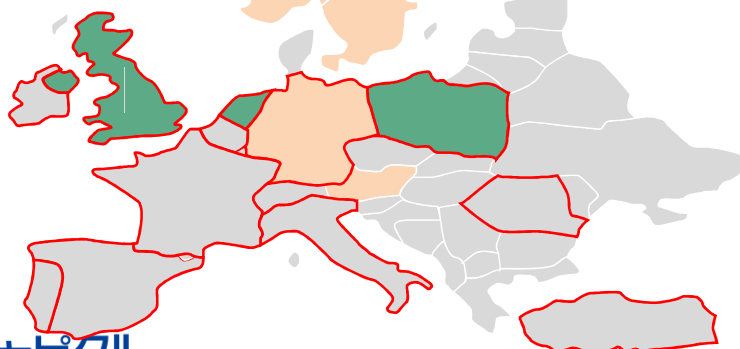
- 販売金融の拡大
 - 販売金融・日立グループ連携強化のためオランダ営業所を開設(17年9月)
 - 外部提携金融機関との連携によるカバレッジ拡充(16年度末:10カ国⇒12カ国へ拡大)
- ビークルソリューション事業M&A継続検討(優先地域:北欧・ドイツ・オーストリア)

【英国事業】Brexit決定の影響なく順調に推移

- コンシューマーファイナンス(CF):競争力の高いビジネスモデルで順調に拡大
- 英国の金融規制強化に対応し、金融行為規制機構(FCA)認可取得(17年10月)

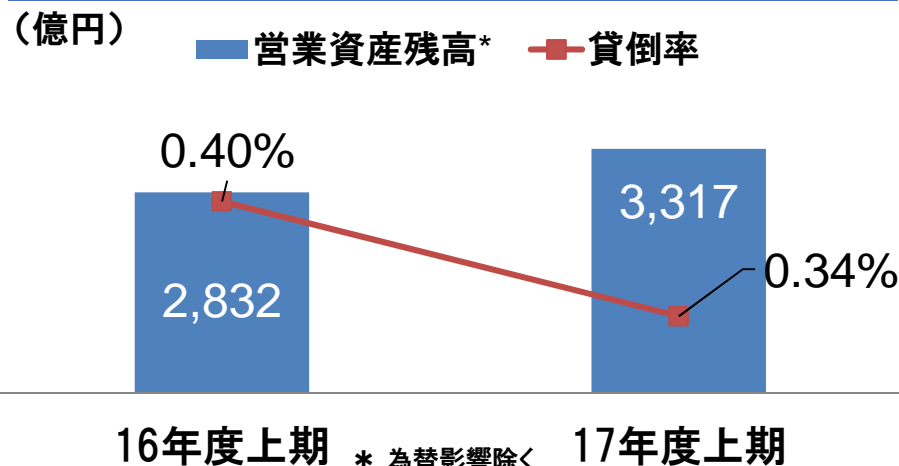
欧州におけるカバー地域

- :カバー地域(外部金融機関との連携地域)
- :既存拠点(英国・ポーランド・オランダ)
- :M&A優先検討地域(北欧・ドイツ・オーストリア)



日立キャピタル

(英国)コンシューマーファイナンスの実績



オーガニックとM&Aで事業拡大。信用コスト抑制にも注力

トピックス

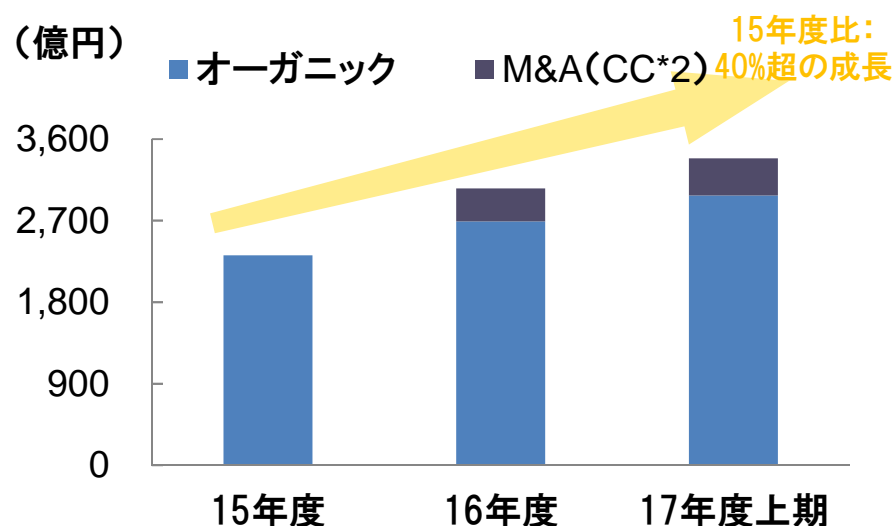
【事業拡大】 オーガニックとM&Aの組み合わせで、営業資産残高は順調に拡大

- オーガニック: 米国ファクタリング事業やカナダ事業が好調に推移
- M & A: Creekridge Capital LLC(16年度買収)のIT/ヘルスケア分野も順調に拡大

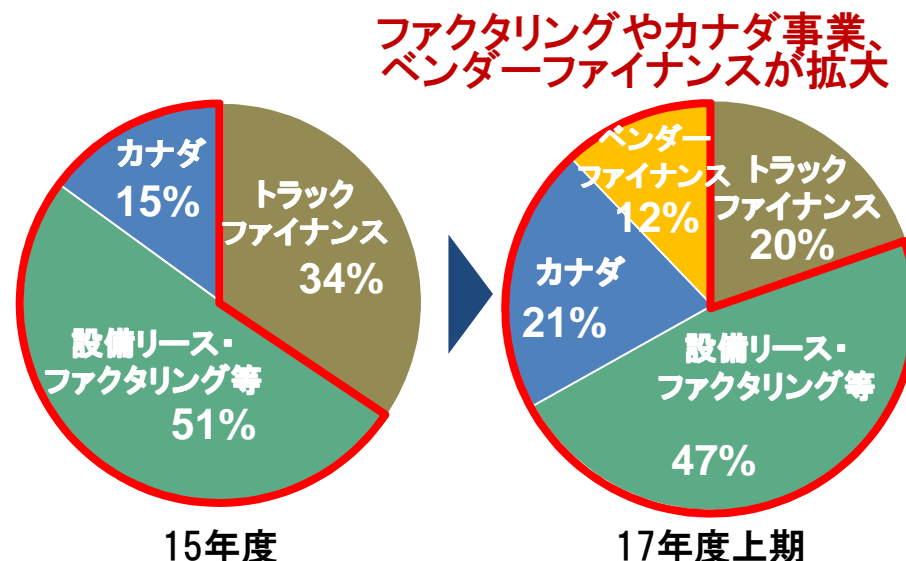
【信用コスト抑制対策】 一部債権が悪化したトラックファイナンス事業で、良質化対策を実施

- 大型トラックの取扱い審査基準を厳格化(中小型トラックへ回帰)

営業資産残高の推移 *1



営業資産残高の構成



中国極一体での態勢強化・パートナー連携による事業推進

トピックス

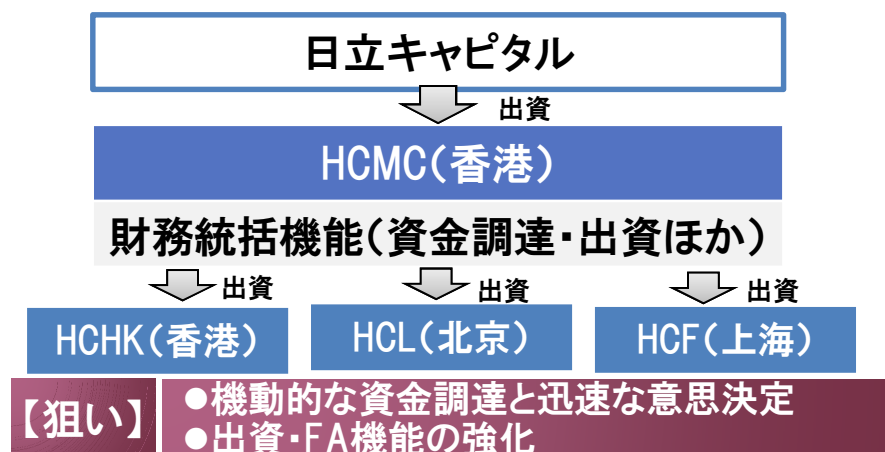
【態勢強化】中国事業における財務統括機能を強化

- Hitachi Capital Management (China) Ltd.(HCMC)を中間持株会社化(17年11月)

【パートナー連携】社会インフラ分野での事業推進(ヘルスケア・地下鉄・水・産業など)

- 日立グループとの協業によるソリューション提供
- 現地(中資系)パートナーと共同出資による事業参画(地域:南京・青島・西安)

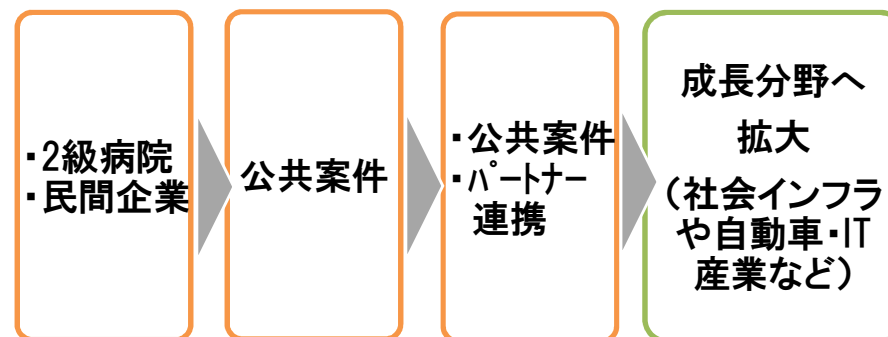
新たな組織態勢(17年11月以降)



HCHK:Hitachi Capital (Hong Kong) Ltd.
HCL:Hitachi Capital Leasing (China) Co., Ltd.(日立租賃(中国)有限公司)
HCF:Hitachi Capital Factoring (China) Company Ltd.(日立商業保理(中国)有限公司)

注力分野(中国本土)

【これまでの取り組み】 【今後の取り組み】



経営基盤強化・事業ポートフォリオ入れ替え、利益効率が改善

トピックス

【シンガポール】日系企業向けビジネスが拡大(取扱高:前年比109%)

【タイ】ローカル企業向け中心にファクタリング事業が拡大(取扱高:前年比157%)

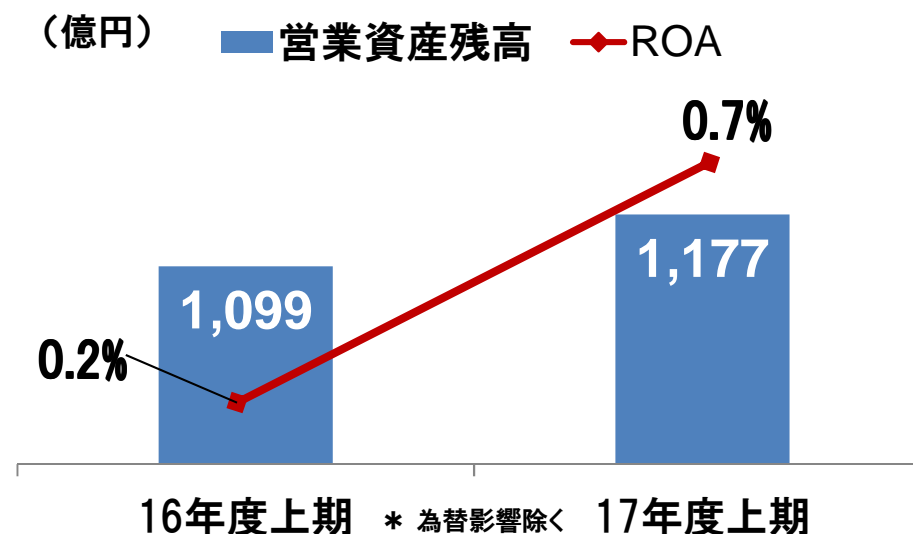
【マレーシア】クアラルンプールへの展開・人財強化等を通じた法人向けシフトにより順調に拡大(取扱高:前年比114%)

【インドネシア】スコアリングシステムを活用した与信管理の徹底により貸倒が改善

経営基盤の強化

財務	<ul style="list-style-type: none"> ● 財務基盤強化に向けた増資を実行 マレーシア:資本金4.5億円⇒17億円(17年5月) (17年度上期:自己資本比率10.3%) タイ:資本金3.3億円⇒36億円(17年8月) (17年度上期:自己資本比率10.8%)
人財	<ul style="list-style-type: none"> ● 専門人財の採用 ● ローカル社員教育の充実
IT	<ul style="list-style-type: none"> ● 基幹システム開発投資による業務効率化 ● スコアリングシステムによる与信管理強化

営業資産残高の推移*



注力分野拡大等でのトップライン伸長と構造改革を推進

トピックス

【注力分野】トップライン伸長、事業体制を強化(売上総利益 前年比:114%)

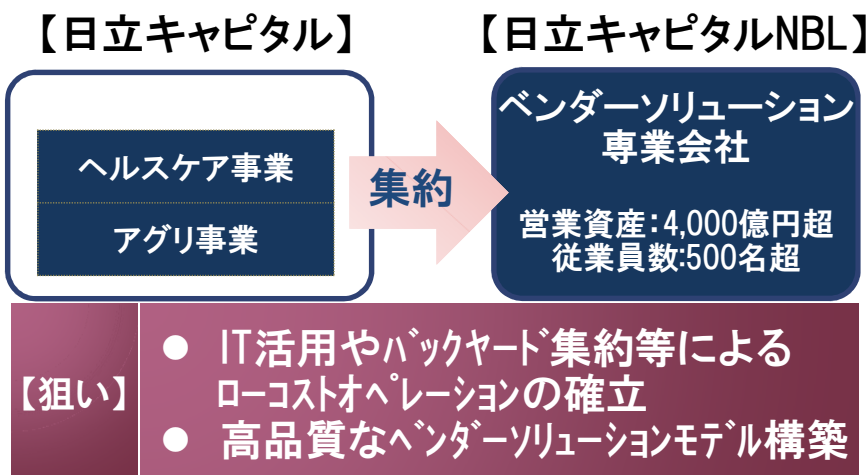
- 環境・エネルギー分野など、伸ばす分野で伸長(累計発電量:16年度368MW⇒389MW)
- 社会インフラ分野における不動産ソリューション機能を子会社*に集約(17年10月)

* 日立キャピタルコミュニティ株式会社

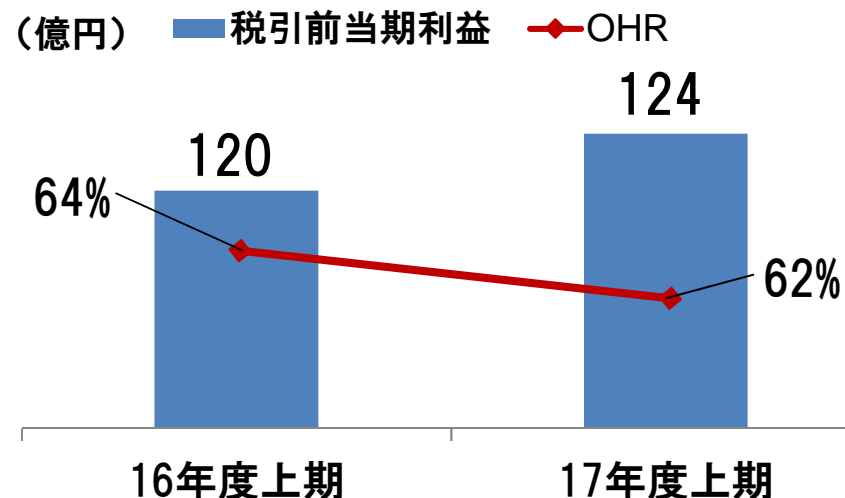
【構造改革】ローコストオペレーションに向けて構造改革を推進

- 競争力強化を目的としてベンダーソリューション事業を集約
(17/10月:フロント機能集約完了。17/下期:システム統合開始、18年度バックヤード集約)
- 働き方改革:個人・会社の成長両立による業務効率向上をめざしたプロジェクトを推進

ベンダーソリューション事業の集約



税引前当期利益・OHRの推移



Contents

1. 2018中計のハイライト
2. 2018中計の進捗
- 3. 今後の成長に向けて**
4. まとめ

3-1. 積極的な投資

次の成長に向けて、重点分野へ投資を拡大

■ これまでの実績：約1,200億円

地域	対象	金額規模	実施時期
日本	風力発電事業を買収	約400億円	16年度2Q
	ジャパン・インフラストラクチャー・イニシアティブ株式会社(JII)へ出資	約100億円	17年1月
	リニューアブルエナジーパートナーズ合同会社匿名組合へ出資	約150億円	17年2月
欧州	オランダNoordlease Holding B.V.の買収	約140億円	17年1月
米州	米国Creekridge Capital LLCの買収	約300億円	16年6月
中国	合弁会社等への出資(地域：淄博・南京・青島・西安)	約30億円	16年度

■ 今後の重点投資分野

*計画は資産規模、実績は資産規模または出資額。
累計実績は2018中計公表時の為替レートで算出

[欧米] ビークルソリューション

- 2018中計の計画：1,500億円規模のM&A
- 米国・欧州(北欧・ドイツ・オーストリア)でM&A検討中



日立キャピタル

[国内] 環境・エネルギー

- 2018中計の目標：累計発電量500MW超
- 大型プロジェクトにおいて事業性検証中



3-2. パートナー連携(MUFG・MUL*)

JIJ*の成果として1号案件が成約

内 容	英国鉄道インフラ事業への出資
出 資 先	High Speed 1(HS1) ロンドンと英仏海峡トンネル間の線路109kmと 駅舎4駅の運営を行うコンセッション会社
出 資 額	75百万ポンド(約105億円※1ポンド140円で換算)
出資時期	2017年9月

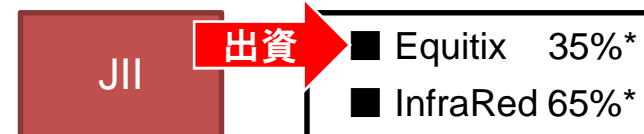
*MUFG:株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ、MUL:三菱UFJリース株式会社
JIJ:ジャパン・インフラストラクチャー・イニシアティブ株式会社

St Pancras International Station



【スキーム概要】

コンソーシアム



【主な収入】
列車運行会社
からの線路・駅
利用料



*HS1への出資比率

Domestic Route



業界内でのプレゼンス向上・日立社会イノベーション事業の側面支援

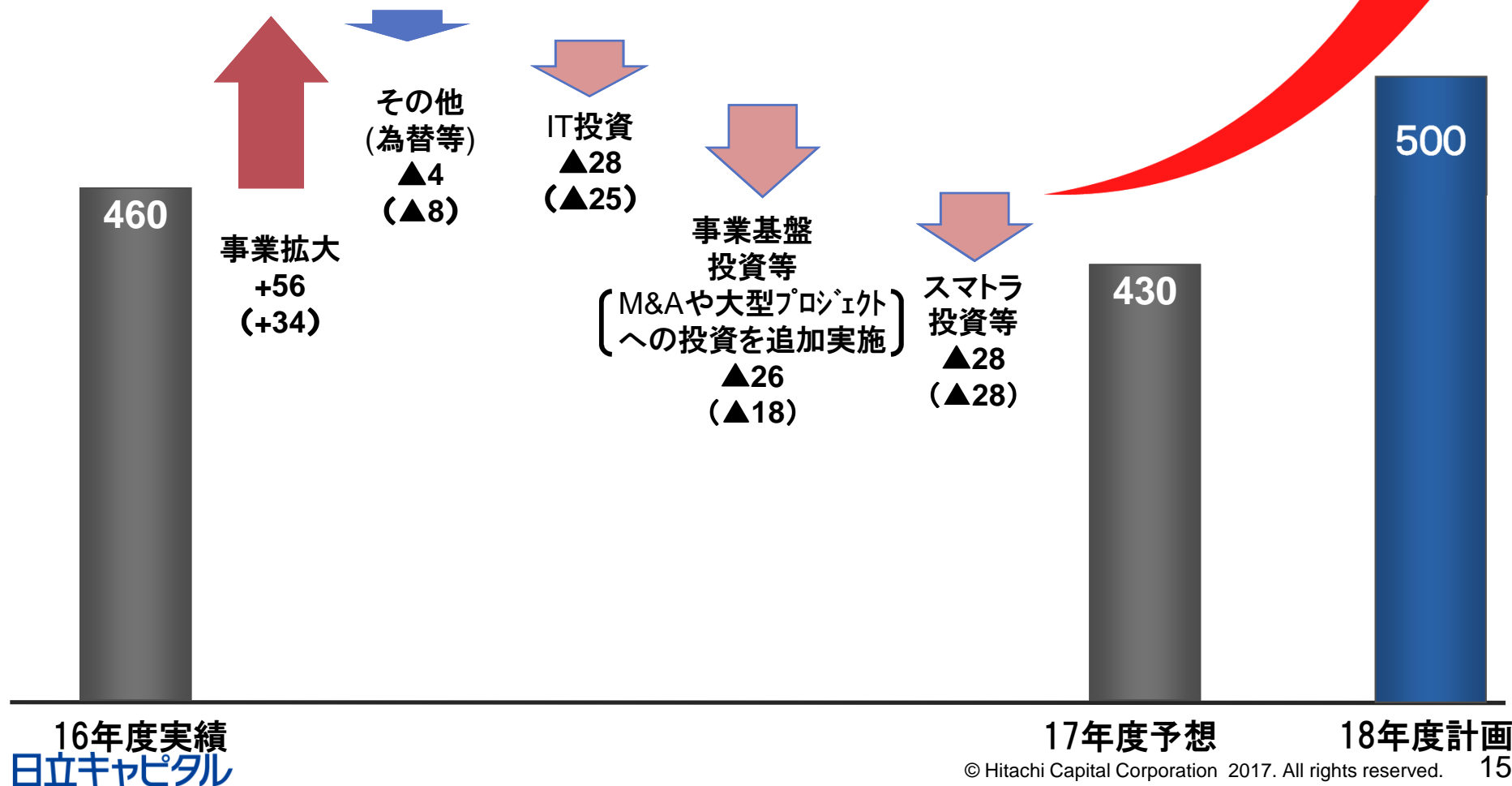
3-3. 将来に向けた投資

- 事業が順調に推移するなか、将来の成長を見据えた投資を追加実行
(期初計画:71億円⇒修正計画:82億円)

単位:億円

税引前当期利益の推移

():期初計画



Contents

1. 2018中計のハイライト
2. 2018中計の進捗
3. 今後の成長に向けて
- 4. まとめ**

4. まとめ

	2016年度	2017年度見通し	前年比
税引前当期利益	460億円	430億円 ↑ [期初計画] 415億円	93%
ROE	9.6%	8.6% ↑ [期初計画] 8.3%	△1.0%
ROA	1.5%	1.4%	△0.1%
OHR	60.7%	61.9% ↑ 改善 [期初計画] 62.5%	+1.3%
1株配当金 (配当性向)	86.00円 (30.5%)	86.00円 (33.0%)	(+2.4%)

日立キャピタル

<http://www.hitachi-capital.co.jp/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご認識いただき、資料をご活用ください。